

	Never Give Up Act on my own Change myself Knowledge is money	Ne o 名寄高校2期生(通算79期生) 17号(進路特別号) 令和6年10月23日 進路担当: 佐川 大樹
---	--	--

☆大学見学バスツアーの報告①

10月12日(土)に大学見学バスツアーを実施し、2年生15名、1年生3名の計18名が参加しました。以前皆さんに配付した案内文書にこのツアーの目的が記されていますが、要は高校を卒業した先を意識させるための仕掛けのひとつです(昨日の進路講演会もそうです)。おそらく、参加した18名全員が何かしらの収穫を得て帰ってきたのではないかと思います。今回、参加しなかった生徒、及び保護者の皆さまに、バスツアーの報告を兼ねてどのような内容のことをやってきたか報告します。

- 06:00 名寄高校出発
- 09:00 駿台予備校札幌校着・進路講演会
- 10:30 北海道大学着・見学
- 14:20 北海道大学発
- 16:20 北海道教育大旭川校着・見学
- 17:30 北海道教育大旭川校発
- 19:30 名寄高校着・解散(土別で途中下車あり)

いろいろ時間がずれたりもしましたが、最終的に上のような行程で各施設をまわってきました。さっそく話が横道に逸れてしまいましたが、今回のバスツアーの出発時間が朝の6:00です。普段の登校時刻よりも約2時間早いです。ちなみに今年の見学旅行の出発は朝の5:30でした。そうしないと飛行機の時間に間に合わないからです。まだ来年の見学旅行の行程がわからないので何とも言えませんが、このくらい朝が早いと思ってもらってください(特に名寄以外から通っている生徒は要注意です)。

さて、札幌に入って最初に駿台予備校におじゃまして進路講演をしていただきました。内容は受験に関する基本的なこと(大学入試改革、共通テスト、受験の方法など)、現役合格に向けて必要なことなどです。私も一緒に講演を聞きましたが、結構**私たち先生方が普段言ったり、指示したりしていることと同じことを言っていました**。それは受験勉強というものが何か特別なことをしているわけではなく、当たり前にするべきことの連続であることを意味しています。また、駿台予備校で現役合格をした受験生の声も紹介していただきました。皆さんにも一部を紹介します。

① これだけは取り組んだマイルールは？

- ・英単語や古文単語など、スキマ時間にできる暗記。
- ・英単語を登下校の電車で毎日200覚えるというルーティンは直前まで崩さなかった。
- ・英語は一日一長文欠かさずに読む。
- ・数学が苦手なので、数学の力が落ちないように毎日数学の問題には触れる。
- ・6:30 起床, 12:00 昼食, 15:00 おやつ, 18:00 入浴, 19:00 夕食, 23:00 就寝。
- ・勉強時間が足りなくても絶対に徹夜や夜更かしをしない。朝、起きる！
- ・ノートに計画と、日記を書いて頑張りを可視化。不安なときのお守りとなった。
- ・受験期はとにかく睡魔との戦いだったが、すべての授業で絶対に寝ないことを自分に課した。
- ・スマホは1日2時間まで。友達にパスワードを掛けてもらって制限した。
- ・スマホ内のアプリは必要最小限度にとどめて、ゲームなどはすべて削除した。
- ・やることが早く終わってもスマホは見ないですぐに寝る。



② 高1・高2のときにやっておけばよかったことは？

- ・もっと初期に基礎を固めておくべきだった。オープンキャンパスに行きたかった（数年前まではコロナで中止、またはオンライン開催のところが多かった）。
- ・もう少しいろいろなイベントに参加しておけばよかったと思う。特に時間がかかる探究系のイベントは時間のあるときでしかできないうえ、高校生のうちにしかできない専門性の低いことも追及できるのでやっておけばと思う。
- ・圧倒的に勉強。高2までずっと部活や好きなことを優先してしまっていたので受験生だから、と勉強するようになって、化学や物理の勉強が楽しく、もっと早く魅力に気づけばよかったと後悔している。
- ・基礎固め。どうしてもまだ時間があるだろうと怠けてしまいがちだが、昨年、一昨年と自分の姿勢をいまさらながら後悔している。まだ受験まで時間があるときのモチベーションのためにも、受験校を調べていきたいと思えるところを探しておくのも重要。

③ 合格者から学ぶ高2の学習

- ・学校の授業の予習や復習、小テスト、定期テストの勉強はしっかりやって、授業で学んだことを確実に身に付けることを目標にしていた。あとでやろうと思って、ため込んでおくと結局はやらすじまいになるので、疲れていても最低限はやるようにしていた。
- ・学校のテストや模試ごとに目標や計画をたてて勉強していた。平日は授業の予習、復習に手一杯だったので、休日や長期休暇はやることをメモにまとめておいた。
- ・部活の引退後にサポートをかけられるように、学力は保っておくことを念頭に勉強した。授業の予習、復習を徹底して、時間があるときに既習分野の復習をして、授業においていかれることがないように心がけた。また、部活帰りで疲れていたとしても少しでも（10分でも）机に向かうことを習慣づけるようにしていた。